

Q：5年生の学習では、全国で各地の産業について学習するため、調べる対象が学校から遠く離れていて資料収集が難しく困っています。資料を集める方法を具体的に教えてください。

A：インターネットだけでなく様々な方法で情報収集をすることは、相手を感じながら遠隔地から情報を得る経験をつむチャンスです。それぞれの情報収集の手段にはメリット・デメリットがありますので、学習する内容や児童の経験、取材する相手などを十分に考慮に入れ、計画的に活用してみてもいいでしょうか。

●インターネット

検索により、即座に調べたい項目について多くの情報が集まるため、多面的に調べることができる点などのメリットがあります。

反面、出典が不確かだとデメリット（データに信頼性がない、集まるデータが多く、内容も小学生には合わず難しい言葉や言い回しが多いため内容が読み取れずノートに写すだけになってしまうなど）も考えられます。

そのため次のような方法を取ってみてはどうでしょう。

児童向けのホームページやリンク集などを利用する。

児童向けの検索専門のサイトがあります。そこを児童が利用するコンピュータのスタートページに設定することで、児童向けのデータが利用しやすくなります。また、学習に役立つリンク集を掲載したホームページもあります。児童の利用する資料集などにアドレスの記載がありますので利用してみてください。

- ・Yahoo!きっず <http://kids.yahoo.co.jp/>
- ・キッズgoo <http://kids.goo.ne.jp/>
- ・学習に役立つリンク集 <http://www.cabinet-cbc.ed.jp/link/link.htm>
(千葉県教育センター)

●手紙

一度に多くの児童が参加し、相手の都合を気にせずに送ることができます。手書きの文や絵で気持ちが伝わりやすく、児童側にも良い経験となります。

反面、やりとりに時間がかかります。事前に教師と相手側との打合せが必要です。

●FAX

手紙と違いやりとりに時間がかからず、繰り返しの利用も可能で、交信しているという実感もわきます。

反面、写真などを添付しても不鮮明で、文字中心のやりとりになります。これも事前の相手との打合せが必要です。

●電子メール（パソコン利用）

FAXと同じくやりとりに時間がかからず、気軽に利用することができます。また、インターネット環境にもよりますが、写真や動画なども鮮明な画像をみることが可能となります。

●電話

相手とじかにやりとりができるため、相手を身近に感じることができる方法です。

反面、電話して良い時間を聞くなど、事前に打合せをして、相手との時間調整が必要となり、負担が大きい方法です。